

チェックします！

議案質疑

質疑とは、
予算案や条例改正案などの疑問点に
対して、詳しい説明を求めることです。
あくまでも目的は、問いたがすることなので、
自分の意見を述べることはできません。

ゴミ袋

〔竹口議員〕

①家庭用可燃ごみ袋の中サイズを加える条例改正を含むが、どの程度の利用や需要を見込んでいるか。
②経費や手数料収入はどうか。
③経過は。

①今年度9万枚の発注を予定。
②70万円で製造し、240万円の収入で差し引き170万円がゴミ消却費用になる。
③議会報告会の際に、住民から要望が出たとの報告を受け、必要だと判断した。

地下水条例

〔西尾議員〕

①地下水の採取に関する条例改正の背景を具体的に。
②県との連携などは。

①近年、地下水の採取が全国的に増えている。そこで、地下水を開発行為と位置付け、計画的な開発をするため。
②県は、地下水の取水制限の法との関係を考え、一定規模以上では県内の地下水状況などのデータを収集すると聞いている。

地下水調査

〔岩井議員〕

①地下水調査委託料が100万円計上されているが、委託先と場所の数は。
②調査の結果、今後の取り組みをどうしていくのか。

①地下水の調査は鳥取大学に委託を予定している。町内の地下水量を把握するための事業。大学で調査と研究もする。
②業者が水の採取を予定している関係で、来年度以降どう対応するか判断材料にする。

恵みの里公社

〔近藤議員〕

大山恵みの里公社への補助金が3300万円。
専務理事の人件費も含んでいるが、専務理事は公益事業に関わりが少ない。どの程度関わったのか。

①専務理事の仕事の2分の1が公益事業に関わると算定。
大山ブランドの推進など、全国に大山町の産品を紹介し、生産者、加工者、販売会社をつなぐために努力してもらっている。

農産加工所

〔岩井議員〕

農産物処理加工施設は、地元の食材を半調理して出荷する目的もある。当初の考えと違った方向に行きつつあるが、軌道修正をする考えは。

①原材料は、当初の計画通り契約で生産してもらうことができていない。今後はじゃがいもや玉ねぎを計画的に生産する体制をつくる予定。